

令和元年度 ベンチャー企業成長支援業務委託 質問回答書

No.	質問	回答
1	<p>1. ネットワーク型ベンチャー企業成長支援プログラムについて</p> <p>①支援対象件数は、プログラム参加修了者（プログラム後の成果発表者）数という理解ですが、問題ないでしょうか？</p>	<p>御理解の通りです。</p>
2	<p>2. ベンチャー企業成長個別支援について</p> <p>①個別支援の対象件数は、どのようにカウントすればよろしいでしょうか？</p> <p>試作品開発や実証実験のパートナー調整やマッチング、資金調達方法のアドバイス等の打合せベースでもカウント可能なのか、それとも何らかの契約行為まで完了したものでないとカウントできないのか等、ご教示ください。</p>	<p>個別支援は、ベンチャー企業支援ネットワークを活用した、製品の試作やビジネスの実証実験の調整、メンタリング等による経営支援、ビジネスマッチング、資金調達支援等の実施等を想定しています。契約行為が伴うものとして定義はいたしません、単に打合せの実施ではなく、ベンチャー企業の成長につながるような具体的な取組に至ったものを1件としてみなします。</p>
3	<p>3. イノベーション・エコシステム創出に向けた交流イベントについて</p> <p>①「受託者が企画に携わる」とは、当社がプロデュースしていれば、集客や当日の運営は協業パートナー等の実施するイベントでも、実績としてカウント可能との理解でよろしいでしょうか？</p>	<p>実施するイベントの趣旨が本事業と合致している場合は、実績としてカウントすることができます。</p>
4	<p>4. 支援拠点について</p> <p>①物件について、当社グループ会社との共同契約等の可能性もあるのですが、問題ないでしょうか？ 問題ない場合、どういった点に注意や申請・報告等すればよろしいでしょうか？</p>	<p>物件の契約者については、受託者が当事業に必要なスペースを確保できる形であれば、共同契約でも問題ありません。</p>
5	<p>②本支援拠点で、同一目的に自社事業としてのイベントを実施する場合は、予め横浜市に申請の上、実施可能とのことですが、現時点では詳細は決まっておりませんので、本提案書には明記できませんが、よろしいでしょうか？ また、どの時点で事前申請すればよろしいでしょうか？</p>	<p>現時点で決まっていない自主事業については、本提案書への明記は必要ありません。想定されるイベントの概要が決まっている場合は、当提案書にご記載ください。</p> <p>なお、「本業務と同一目的で行われる自主事業としてのイベント」を実施する場合は、自主事業の届出が必要となります。原則、協働契約を結ぶ際に同じタイミングで「自主事業届出書」等を提出していただきます。届出様式等については、以下のホームページを</p>

		<p>参照してください。</p> <p><a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/kyodo/jourei/kyoudoujourei.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/kyodo/jourei/kyoudoujourei.html</a></p>
6	<p>③「物件確保に関わる状況がわかる資料」とは、例えば「オーナーとの覚書」などのご説明でしたが、具体的にはどのような情報が含まれていることが望ましいのでしょうか？</p>	<p>10 月末に拠点が開設できるスケジュールを前提として、「既に物件を確保している」、「賃貸借に係る申込書を提出している」等、状況が分かる書類を添付いただくことを想定しています。</p>
7	<p>5. 本業務の担当者について</p> <p>①「病気、死亡、退職等極めて特別な場合を除き、変更することができない」とのことですが、人事異動は対象外でしょうか？ 増員は可能でしょうか？</p>	<p>人事異動があった場合も、提案時点と同等以上の知識・経験等を有している御担当者を配置していただければ変更は可能です。また、増員していただくことも可能です。</p>
8	<p>②上記の対象期間は、令和元年度のみでしょうか？それとも令和3年度まで継続でしょうか？</p>	<p>原則として、対象期間は令和元年度のみです。次年度以降の契約の更新の際には、当該年度の担当者、体制についても考慮します。</p>
9	<p>6. 提出書類について</p> <p>①「提案書は合計 15 ページ程度に収まるように」とのことですが、様式 1～5 全ての合計という理解でよろしいでしょうか？</p>	<p>御理解の通りです。</p>
10	<p>②参考見積書の書式や内容については特に記載がありませんが、見易くて内容が伝われば、自由書式という理解でよろしいでしょうか？</p>	<p>御理解の通りです。</p>

11	<p>質問① 業務委託仕様書「2 事業の目的」の（参考）の表に、横浜市「次世代産業創出事業」の目標として「ベンチャー企業等の市内での起業・立地件数」が120件、「支援対象となった市内ベンチャー企業等が受ける資本性投資額」が100億円と書かれていますが、これらの数値はあくまで横浜市「次世代産業創出事業」の目標であり、本事業はこの目標の実現にむけて業務は推進するものの、今回の業務委託の直接のKPIではないという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>御理解の通りです。</p>
12	<p>質問② 業務委託仕様書「3 本事業の目標」の表中に、「情報発信対象者数300件（累計）以上」とあるのは、具体的にどのようにカウントされるのでしょうか。表の下に「各目標の定義等は業務内容を参照のこと」とあり、該当する説明箇所は「（6）支援拠点及び本市のイノベーション・エコシステムの情報発信」の「エ」の項であると推察しますが、「メールマガジン登録者数」+「SNSでのフォロー数」の総数ということでしょうか。このほかに、個々に含めると想定している数値はありますか。また、例えばフォロワーが1,000人いるSNSのアカウントを保有しているとして、そこから1回情報発信をすれば、情報発信対象者数が1,000人とカウントされるのでしょうか。</p>	<p>業務委託仕様書6（6）エに「本事業に関心を持ち、常時情報を発信することができる対象者」と定義しており、「メールマガジン登録者数」と「SNSでのフォロー数」等の対象者総数としています。この場合、受託者の既存のネットワーク等も活用していただきながら、当事業に関心をお持ちの方を新たに開拓し、情報発信対象者としてカウントしていただくことを想定しています。</p> <p>なお、当事業を通じて得られた情報発信対象者は、横浜市と共有していただくことを想定しています。</p>
13	<p>質問③ 業務委託仕様書「6 業務内容（1）ア（イ）支援対象者」の項に「特に事業のアイデア段階から事業化までの初期の支援対象者を重点的に支援しつつ」と書かれており、横浜市「次世代産業創出事業」の目標の一つである「支援対象となった市内ベンチャー企業等が受ける資本性投資額100億円」とは規模感が多少違っているような印象を受けておりますが、本事業では「事業のアイデア段階から事業化までの初期の支援対象者」を重点的に支援し、上記で書かれているような100億円の資金調達のサポートは重点的に行うということではないという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>ベンチャー企業成長支援プログラムの支援対象者は、業務委託仕様書6（1）ア（イ）に記載のとおり、「特に事業のアイデア段階から事業化までの初期の支援対象者」を重点的に支援しつつも、「近い将来大企業等との協業が見込めるベンチャー企業」等、資本性投資額100億円の目標達成に向けた企業に対する支援も重視して行っていただきたいと思います。</p>

14	<p>質問④ 業務委託仕様書「6 業務内容（1）ア（イ）支援対象者」の項に、「支援対象者は、3年程度の間に横浜市内への立地や起業を検討している者または、現在市内に立地している者とする。」と書かれていますが、前者はこれから横浜市内で起業することを想定しているような社会人や学生のごことで、後者の「現在市内に立地している者」というのは、横浜市内に登録を行っている企業のことを意味していますでしょうか。その場合、横浜市内に登録をしていない企業は支援対象者とならないのでしょうか。それとも登録が横浜市内でなくても、例えば勤務地や居住地が横浜市の場合は支援対象になるのでしょうか。</p>	<p>「これから横浜市内で起業することを想定しているような社会人や学生」の他に、既に横浜市内で起業している者も含めます。</p>
15	<p>質問⑤ 業務委託仕様書「6 業務内容（4）オ（ア）業務時間」の項に、「受託者が週5日以上、1日8時間以上の時間を設定し、基本時間として業務を行う」と書かれていますが、こちらの業務を複数人で分担しても可能でしょうか。例えば週3日はAさん、週2日はBさんが対応というやり方です。また受託者がこちらの業務の一部を別の事業者等に委託するような形式でも問題ないでしょうか。</p>	<p>業務の質が偏ることなく引継ぎ等を円滑にいただければ、複数人で業務を分担していただくことについて問題はありませぬ。また、業務の一部を別の事業者にも再委託することも可能です。</p>
16	<p>質問⑥ ベンチャー企業に関して、アイデア段階で起業を検討している人から、すでに数億円以上の調達をして従業員も数十人いるような企業もあるかと存じます。本事業において、横浜市がイメージしているベンチャー企業の構成ポートフォリオをお持ちでしたら共有していただけますでしょうか。</p> <p>例えば、アイデア段階が全体の70%、数百万円から数千万円の調達を行ったシードステージの企業が全体の20%、1億円前後の調達を行った企業が10%程等のような感じですか。</p>	<p>横浜市では、ベンチャー企業の構成ポートフォリオのイメージは定めておりませぬ。横浜市「次世代産業創出事業」の目標である、ベンチャー企業等の市内での起業・立地件数120件及び、支援対象となった市内ベンチャー企業等が受ける資本性投資額100億円につながるような御提案をいただきたいと考えます。</p>